

# 試合会場レポート

[試合番号]C4

[開催日]2011/2/6

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]14:25

[終了時間]15:45

[試合時間]1:20

[主審]古谷 潤

[副審]高橋 賢司

[記録員]高田 明美

女子：決勝戦

土浦日本大学高等学校

監督：石崎 吉宏

コーチ：小松崎 裕子

2	29	第1セット 【0:30】	31	1
	25	第2セット 【0:20】	16	
	25	第3セット 【0:24】	16	

東洋大学附属牛久高等学校

監督：鈴木 敦子

コーチ：高橋 美樹

【 】内はセット時間

## 戦評

決勝戦は予選を危なげなく勝ち上がった土浦日本大学高等学校と、準々決勝・準決勝で接戦をものにして勢いに乗る東洋大学附属牛久高等学校の対戦となり、春高予選と同じ顔合わせとなった。

第1セットは3-3以降、土浦日大はスパイクを連続してミスする一方、東洋大牛久は5番石川がいい場面でスパイクを決めるなど、終始リードを保つ展開となった。土浦日大は途中でタイムアウトを2度取るも流れを引き寄せられず、先にセットポイントをにぎられたが東洋大牛久は24点をとった後ミスを連発し、ついに24-24と追いつかれた。しかし、最後は東洋大牛久3番成島のダイレクトスパイクによって31-29という接戦の決着がついた。

第2セットは、土浦日大が序盤に9番青木葉がスパイク・フェイントで得点を重ねたこともあって、終始リードを保った。一方、東洋大牛久はスパイクのミスが連発するなど波に乗れず、中盤石川の頑張りで追いつくも、終盤は土浦日大8番青木葉の攻撃が効果的に決まるなど、最後は25-16で土浦日大がセットを取り返した。

フルセットとなった第3セットは、序盤は東洋大牛久成島の豪快なスパイクが決まる一方で、土浦日大にミスが連発して東洋大牛久がリードしていったが、土浦日大は8番青木葉のスパイクが連続して決まったところで9-9と追いついた。その後、11-11の場面で東洋大牛久7番諏訪のスパイクがブロックにつかまったあたりから土浦日大が徐々にリードをひろげていき、終盤は成島も土浦日大のブロックにつかまるなどし、東洋大牛久はメンバーチェンジなどでも流れは変えられず、最後は25-16で土浦日大がセットをとり、これで土浦日大は4年連続の新人大会優勝となった。